

平成 18 年度 栃木の子どもの学力向上を図る学習指導プラン

確かな学力を育むために

【小学校・理科】



平成 19 年 1 月

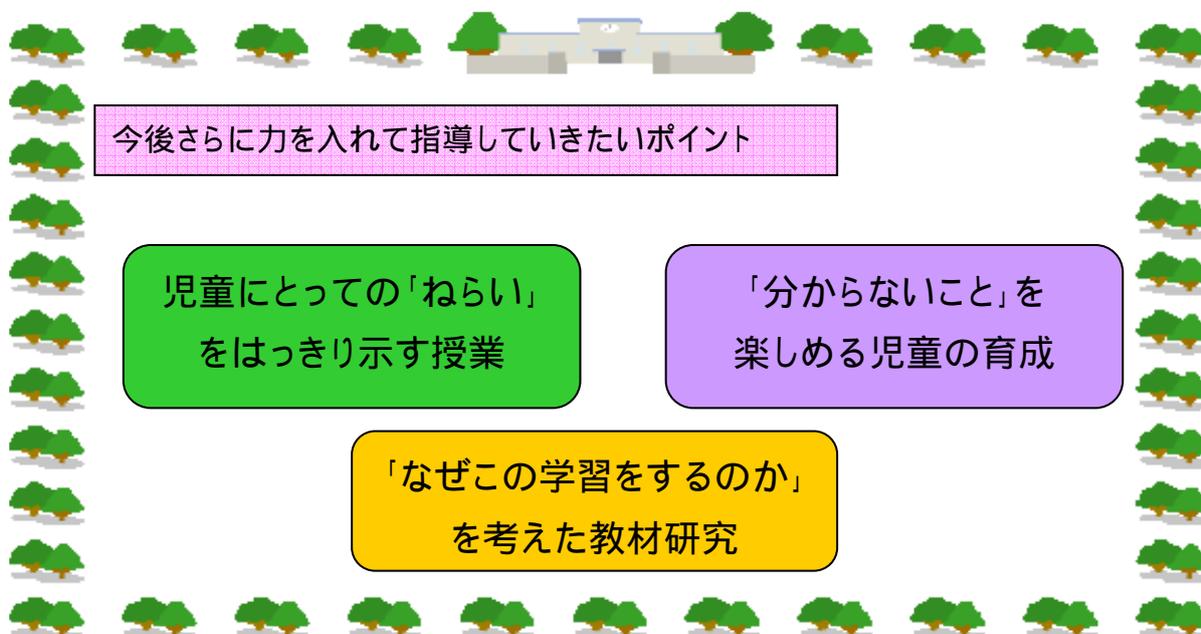
栃木県総合教育センター

本県では、児童生徒の学習状況を把握するため、昭和 47 年度から「学力水準調査」を、平成 7 年度からは「学習状況調査」を実施してきました。また、全国の状況と比較するため、平成 14 年度、平成 16 年度には「教育課程実施状況調査」を実施しました。

これらの調査のうち、主に「学習状況調査」と「教育課程実施状況調査」の結果を再度分析し、学習指導の充実・改善を図るためのポイントを教科ごとにまとめました。

各学校でご活用いただき、「確かな学力」を育むための学習指導の充実・改善にお役立てください。

これまで本県で実施してきた学習状況の調査は、出題範囲が第4学年の一部と第5学年の12月までに学習する内容に限られていました。今回は、これまでの調査結果からみえた指導のポイントを踏まえ、第3学年から第6学年までの内容について、学習指導プランを作成しました。平成17年度に3回シリーズで発行した「栃木の子どもの学力向上を図る授業改善プラン」と併せて、日頃の学習指導にお役立てください。



児童にとっての「ねらい」をはっきり示しましょう

- 1 授業の「ねらい」をつかんで授業に臨みましょう・・・・・・・・・・ P 2

「分からないこと」を楽しめる児童を育てましょう

- 1 「月の動き」では、宇宙の不思議を感じさせましょう・・・・・・・・ P 4
 - (1) 「この後、月はどっちに動くでしょう？」で、不思議を楽しむ授業
 - (2) 「月にウサギは本当にいるのか？」で、不思議を楽しむ授業
- 2 「もののあたたまり方」では、見えない不思議を実感させましょう・・ P 7
 - (1) 「みるみる伝わっていく！」という不思議を楽しむ授業

「なぜこの学習をするのか」を考えましょう

- 1 「系統性」から電気の学習を考えましょう・・・・・・・・・・ P 12
- 2 「日常生活との関連」から水溶液の学習を考えましょう・・・・・・・・ P 14
- 3 「野外観察の必要性」から地質の学習を考えましょう・・・・・・・・ P 17